

社長さんが知っておきたい  
**冠婚葬祭のマナー**



伝統行事がありますよね。そこで、今回は伝統行事の**節句**について、よくあるご質問と合わせてご紹介いたします。



**Q.節句(せっく)って何ですか？**

**A.節句とは、季節の節目にあたる日のことを言い、神様に無病息災、豊作、子孫繁栄などを願って、その季節に合ったお供え物をしたり、邪気をはらったりする行事のことです。**

節句は、中国から伝わった風習をもとに、農作業の節目に行われていた日本古来の風習と合わさることで、数多く生まれました。

その後、日本文化や人々の生活に根付いた習慣などにより、時代を経て徐々に整理されました。そして、江戸時代に式日(祝日)と制定されていた特に重要な5つの節句が「**五節句**」として、現在でも日本の伝統行事、伝統文化として継承されています。

**Q.五節句(ごせっく)って何ですか？**

**A.日本の季節の節目に行われる年中行事として伝わっている5つの節句の総称です。**

それぞれの節句の日付と、名称、別名についてご紹介いたします。

- ①1月7日「人日(じんじつ)の節句」  
(七草の節句)
- ②3月3日「上巳(じょうし)の節句」  
(桃の節句)
- ③5月5日「端午(たんご)の節句」

(菖蒲の節句)

- ④7月7日「七夕(しちせき)の節句」  
(笹の節句)
- ⑤9月9日「重陽(ちょうよう)の節句」  
(菊の節句)

四季のある日本の伝統文化としての意味や由来を知ると、年中行事もより身近に感じますよね。次回は五節句の由来や風習などを詳しくご紹介いたします。今回も参考にいただければ幸いです。  
(fami友葬・清水ふじ代)

**大人の知恵袋②8**

～節句(せっく)って何ですか？～

1年の間には、さまざまな行事やお祝いが行われていますが、具体的にどんなものが、いつあるのか、よく分からない方も多いのではないのでしょうか。5月の行事ですと、5日のこどもの日に「端午の節句(たんごのせっく)」と呼ばれている、